

提案名	県産材と天然乾燥材でつくるエコな住まい	分野	木造等循環型社会形成の分野に係る提案
提案者	近藤建設工業株式会社	種別	システム提案
構造	木造住宅（在来軸組）	建て方	一戸建ての住宅

■提案の基本的考え方

荒廃した山を健全な状態に保つ為に、森林の「植えて」→「育て」→「伐採」→「植えて」というサイクルを促進しなければならない。その為に、地場木材業者と積極的に協働し、地場で産出された木材の利用を住まい手に啓蒙することで、地域に根ざし、品質が確認された木材を使用した住宅建設を目指す。そうした仕組みの中で、長寿命であると同時に、地球の環境保護に貢献する木の家の普及及び促進活動を提案する。

そのために、以下の項目を提案する

- (1) 県産材を有効に活用し、地域循環型社会の形成に貢献する。強度・含水率など品質の確認された木材で作られた、長期優良住宅を住まい手に供給することで、林産地・製材業者・住まい手の橋渡しを行い、地産地消のサイクルを促進する。
- (2) 自然エネルギーの有効活用を実施する。天然乾燥材を積極的に活用することで、乾燥材の製造過程で排出されるCO2の削減を行い、静岡らしい木の家づくりを推進する。
- (3) 予想される東海地震への対策を実施するために、構造計画の明快化を図る。合わせて作り付け家具の普及等を啓蒙することで、地震時における二次災害防止を目指す。



地産地消のサイクル概念

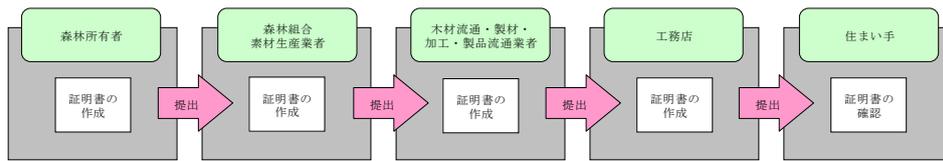
■提案内容

- (1) 品質の担保された地域材の普及促進

・静岡県木材協同組合連合会の「木材業者登録制度」に認定されている地場木材業者と連携して、地産地消のサイクル促進に努める。地域活性化及び循環型社会形成に寄与するため、全ての構造材に品質の確認された県産材を使用する。また、新たに開発された県産材による構造用合板を積極的に活用する。同時に、土台・柱に4寸角以上の天然乾燥材を積極的に活用することで、乾燥材の製造過程で排出されるCO2の低減を目指すと共に、地場木材業者に天然乾燥材利用のメリットを広く啓蒙する。



静岡県木材業者登録マーク



品質証明流通フロー図

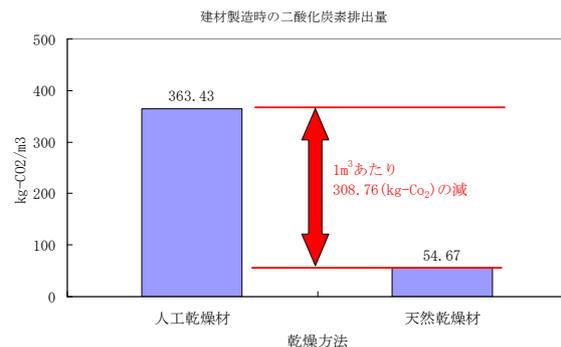
さらに、県産材の利活用を図る為に、建築用材にとどまらず、家具・建具・造作材への用途開発を行い、県産材の使用率を上げる。竣工後も住まい手が、日常生活の中で常に目にするとところに使用することで、県産材の「見える化」を図る。



県産材の家具・建具・造作材・仕上材等への活用

(2) 自然エネルギーの有効活用

- ・温暖な気候風土を活かし、自然エネルギーを有効活用した家づくりを行う。快適性や省エネルギー性の向上だけでなく、家づくりの過程でも、温暖な気候を利用して乾燥させた天然乾燥材を積極的に活用する。構造材の内、柱等小断面の材料は天然乾燥材を、大断面材については人工乾燥材を使用するなど、それぞれの長所を活かした材料計画とする。天然乾燥材の使用率を向上させ、乾燥材の製造工程で排出されるCO₂の1.0 t削減を目指す。
- ・地場木材業者と共同で見学会・説明会を開催する。



建材排出時の二酸化炭素排出量

(3) 東海地震に備えた合理的な構造計画

- ・メインフレーム（主屋）とサブフレーム（下屋）による構成とし、構造計画の明快化を図る。
- ・造り付け家具の普及啓蒙により、地震時における家具転倒等の二次災害の防止を図る。
- ・小型雨水タンクを設置し、自然エネルギーの有効活用を図る。環境対策の一助とすると同時に、震災時におけるライフライン確保を行う。

■提案者からのコメント

地場木材業者との協働により「地域の山の木」を有効活用することで、地域発展に貢献し、特殊解でなく、地方工務店、素材生産業者でも取り組むことの出来る、一般解としての長期優良住宅を普及させていくことを提案の主題とした。素材である木材についても、自然エネルギーを利用した天然乾燥材を積極的に活用することで、製造工程でのCO₂削減を図ると同時に、地域で産出された木材を適材適所に活用することにより、ウッドマイレージの短縮をも図って行くという、循環型社会形成に向けた在り方を提案した。

「地域材で建てる」、このような住宅を普及させることで、地域に密着した住宅に関わる木材業者を始めとした、多くの人々の“木材の品質”に対する認識を高め、その結果として、「山の木」の有効利用が図られ、「山の健全化」を推進し、地域活性化の一助になることを願っている。